

# やりよるぞ

内 富 俊 隆 書

【第28号 令和8年3月15日】  
編集・発行 青少年育成生雲地区民会議

## 生雲どんど2026

令和8年1月10日(土)  
「生雲どんど2026」を開催  
しました。



この日は林野火災警報がでたため、どんど焼きは中止にしましたが、お正月遊び「巨大すごろくゲーム」は開催しました。大きいすごろくを投げるたびに歓声があがり、盛り上がりました。



3人1組で大集会室一面に作ったマス、投げてでたサイコロの数字ほど進み、早くゴールした組が優勝となります。マスには様々な困難が待ち受けていて、会長とジャンケン・クイズ・輪投げ・カッコイポーズをとるなど、子供たちは大よこびでチャレンジしていました。分館の大集会室に子供たちの元気な声が響き渡り、かわいい笑顔があふれて、マスのチャレンジコーナーを考えた役員も大満足し、地域と子供達が触れ合い、楽しいひとときを過ごすことができました。令和8年度もこのような活動を行ってまいりたいと思います。1月20日(火)数名の方にご協力いただき、どんど焼きを無事に行いましたのでご報告いたします。



募金額 13,764円



12月30日(火)にYショップ前で年末街頭募金活動を行いました。1時間の募金活動で集まった募金は日本ユニセフ協会へ送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。

### 年末ユニセフ街頭募金



### 子ども110番の家設置場所

「子ども110番の家」とは、子どもが危険を感じた時や、助けを求めてきたときに、子どもを保護して警察などに通報することに協力してくれる家や施設の事です。

- ・ 生雲地区設置場所
- ・ 生雲分館
- ・ 前田商店
- ・ 齊藤衣料店
- ・ 生雲郵便局
- ・ 西村火薬店
- ・ 吉岡モーターズ
- ・ 伊藤英雄 様



## 令和7年度 活動報告

- 令和7年 6月 8日 「地区民みんなで清掃活動」に参加
- 7月 2日 「青少年育成生雲地区民会議 代議員会」
- 7月17日 「子どもたちを見守る生雲懇談会からのお願い」配布
- 8月24日 「地区民みんなで清掃活動」に参加
- 10月20日 「ふるさと」標語募集及び表彰
- 12月 3日 生活バス『クリスマス号』実施
- ~21日
- 12月30日 「年末街頭募金(ユニセフ)」実施
- 令和8年 1月10日 「生雲どんど2025」開催
- 1月24日 「研修視察」(フォーラムに参加)
- 3月15日 「やりよるぞ」発行



### 青少年育成生雲地区民会議

- 副会長 阿武 雅己
- 会長 高橋 士男
- 事務局長 金子 眞一郎
- 監事 村上千代春
- 藤原 卓也
- 長安 幸次

### 地域の皆様へ

生雲地域の皆さんの温かいご寄付により、青少年育成生雲地区民会議の活動が支えられております。生雲における子どもたちの数は年々減少しておりますが「地域で見守り育てる」を目標に、一致団結して活動を行っていかうと思っております。これからもご協力の程よろしくお願いたします。



# クリスマスバス



12月3日(水)、生雲小学校の子供達が生活バスをクリスマス仕様にした。名付けて「クリスマス号」この日は、小雪が舞い散る寒い日でしたが子供たちはとても元気いっぱい半袖・半パンで過ごす子もいました。まずは外から、じぶんの好きなマグネットシートを楽しそうに飾っていました。



Merry Christmas



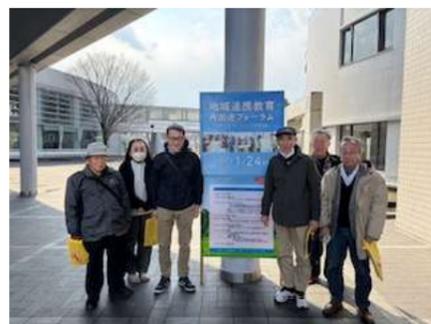
「クリスマス号」は、12月3日から22日まで、生雲のまちを走りました。運転手さんも、サンタに変身し、走行中に手を振っていただくなど協力してくださいました。ありがとうございました。



## 研修視察に行ってきました

1月24日(土) 山口県セミナパークにて開催された、「地域連携教育再加速フォーラム」に8名の参加がありました。オープニングアクトでは、周南市立富田中学校が、周南市和田地区伝わる国の重要無形民俗文化財に指定されている三作神楽を披露してくれました。次にポスターセッションでは、全26校が前半後半の13校ずつに分かれ、13の研修室で同時にポスターセッションを行いました。仁保小学校は、『仁保の魅力伝え隊～アイラブ仁保にこ大作戦』と題して、仁保の魅力を歌にしてまとめ発表しました。県立山口高等学校は、『あとらくばこ～引っ越しする日もそのあとも』と題して、面倒なイメージにある引っ越しを簡単にする〈ダンボールビジネス〉をテーマに地域の引っ越し業者の方のご意見を参考にして、引っ越し後も使える『あとらくばこ』を提案し、あとらくばこについて説明をしました。また、阿武町立阿武中学校は、「自分たちの故郷は自分たちで守る！」をテーマに地域共同の

県立下関総合支援学校の生徒による喫茶サーブと作品展示がありました。作品を見学した後に情報交換や、休憩に多くの人々が利用されていきました。



防災の取組を進め、防災の大切さと地域を守る思いを発表しました。このフォーラムに参加して生き生きとした表情をしてジェスチャーを入れて発表する姿に心が熱くなり、これから大人へ成長する子供たちを見守り導いていく役割が大切だと改めて感じました。

### 「生雲愛」を大切に

生雲小学校 校長 西嶋 智

生雲小学校では、学校教育目標を「夢や目標に向かって努力し、人との関わりを大切にしながら、ふるさとに貢献する生雲っ子の育成」としています。

この目標を達成するには、子どもたちが生雲のことをよく知り、生雲に誇りをもつことが必要となります。つまり、子どもたちの「生雲愛」を育てることが大切なのです。そのために、今年度も生活科や総合的な学習の時間には、生雲のことについて調べたり、生雲に関係のある体験学習をしたりしました。また、学習を進める中で、地域の方々に優しく教えていただいたり、お手伝いをしていただいたりしたことで、「生雲愛」がさらに大きく醸成されたことと思います。

生雲地区はとてすてきなふるさとです。小学生や中学生の皆さんは、進学や就職の関係でいったん生雲を離れることもあるかもしれません。しかし、この土地で育まれた「生雲愛」をしっかり胸に刻み、いつまでも生雲のことを想いながら成長して行ってほしいなと思います。

### 阿東中学校

校長 末富 真人

校長室前に掲げている言葉があります。

- 一、感動を人からもらうのではなく、感動を与えることができる人間になろう
- 一、今日のことは今日やろう。明日はまた明日やるべきことがある
- 一、人間の能力に大きな差はない。あるとすれば、それは熱意の差だ

ご存じのように、この三訓は青山学院大學陸上部監督の原晋氏が寮の玄関ロビーの壁に掲げたものです。

最近、この文章の中の「感動」について考えます。感動とは、文字どおり「感じて、動く」ことです。つまり、心が揺さぶられただけではなく、次の行動につながる。こそ本物の感動と言えるということですね。心が動かされた体験を身近な人に伝える、こうありたい自分に近づく最初の一歩を踏み出す。つまり、「思いを具体的に行動で表せてはじめて『感動』と言える」のではないのでしょうか。

若いみなさん、自信をもって自分の考えを表してみましよう。きっとそこから自分も周囲の人も世界が広がっていくものだと信じています。

### 子供たちを見守る

生雲こんだん会



子供達を守るチラシを保育園・小学校・中学校に配布しました！

### 標語優秀作品

生雲小学校の児童に、夏休みの間に標語の募集をし、役員が審査を行いました。審査の結果、次の通り決定いたしました

#### 【最優秀作品】

おいしいな 和牛やお米  
いっぱいだ

四年 笹田 大翔

#### 【優秀賞】

他にはない やさしい人と  
自然達

五年 伊藤 小桜

#### 【優秀賞】

きらきらと 水面かがやく

六年 岡岬 瑚乃果  
生雲川

